

報 告

第53回粘土科学討論会（岩手大会）報告

岩手大学大学院工学研究科 成田榮一

第53回粘土科学討論会（岩手大会）は、平成21年9月10日（木）～11日（金）の期間、岩手大学学生センター（岩手県盛岡市）を会場に開催されました。今回の岩手大会は平成6年度の第38回大会について2回目でした。2日間とも概ね穏やかな日和に恵まれ、多くの参加者を得て盛況に行われました。討論会への参加人数は180名で（内、外国籍の方が4名）、その内訳としては正会員121名（内、新規に正会員になられた方が2名）、学生会員48名（内、新規に学生会員になられた方が5名）、非会員11名でした。そして、登録された一般講演の口頭発表は47件、提案型討論の口頭発表は9件、ポスター発表は36件で、これに招待講演として特別講演1件、シンポジウム講演5件がありました。以下に順を追って報告いたします。

まず、討論会前日の午後には、平成21年度常務委員会が討論会場の会議室で開催されました。岡田清会長、山田裕久常務委員長をはじめとする常務委員の方々が参集し、順調に審議ならびに報告が行われました。

9月10日の1日目は朝の9時00分からAとBの2会場に分かれて、一般講演の口頭発表が始まりました。受付業務はスムーズに進み、また口頭発表には液晶プロジェクタを用いましたが、トラブルもなく予定どおり行われました。今回から初めて発表者にはPCの持参をお願いし、どうしても持参困難な場合には会場に用意したPCを使用するという体制を取りましたが、ほとんどの発表者にはPCを持参していただき混乱はありませんでした。なお、B会場では発表者の健康上の理由からキャンセルが1件ありました（会期中、キャンセルはこの1件のみでした）。

昼には平成21年度評議員会が開催され、審議ならびに報告が予定どおり行われるとともに、次の日に予定されている総会の打合せ等が行われました。午後は13時10分から齋藤徳美氏（岩手大理事・副学長）の特別講演が“岩手の大地に生きる一活火山岩手山との共生”のテーマで行われました。平成11年から数年間にわたり発生した岩手山の噴火騒動を例に挙げ、岩手方式といわれる火山防災対策と減災の4角錐体制の確立や平時の備えの重要性に関する内容で、たいへん興味深い講演となりました。齋藤氏には厚く御礼申し上げます。

引き続き、同会場において14時30分から“粘土科学若手研究者が語る将来の夢～新世紀始まりの潮流～”をテーマにシンポジウムが行われ、若手研究者による最新の粘土研究の発表が行われるとともに、総合討論では聴講者との間に活発な論議が交わされました。今回は、企画委員の発案により、発表内容を前もって「粘土科学」

（第48巻、第2号）に掲載し、聴講者の理解を深める工夫がなされました。講演は、「プロトン交換モンモリロナイト層間での酸塩基両機能創出と連続触媒反応への応用」（本倉健）、「放射性廃棄物処分施設におけるベントナイト系材料のアルカリ環境下での変質」（横山信吾）、「多孔性オルガノピラードクレイの吸着剤応用への模索」（石井亮）、「白雲母表面－水界面における原子分布の解明」（佐久間博）、「水－鉱物相互作用の素過程としてみた吸着反応」（福士圭介）の各課題と各会員によって行われました。これらの意欲的な研究発表は社会生活や産業界で求められている粘土科学の役割に応えるものであり、今後のさらなる展開が期待されるシンポジウムとなりました。また、今回も講演者の方々には感謝の気持ちを込めて記念品（プレート）が贈られました。各発表の座長を務められた方々と企画委員の岡田友彦会員、高木慎介会員および鈴木正哉会員にはその労をねぎらい感謝申し上げます。

シンポジウム終了後は、会場の岩手大学キャンパスから盛岡駅前にあるホテルルイズにバスで移動し、総勢123名の参加者のもとに懇親会が開催されました。まず、岡田会長のご挨拶と藤井克己岩手大学長のご祝辞があり、ついで札幌から駆けつけてくださいました湊秀雄名誉会員の乾杯のご発声があり、和やかな歓談と交流のひとつときをもつことができました。その間、余興として、郷土の伝統芸能である“岩手さんさ踊り”の披露があり、



宮澤賢治モニュメント（山田裕久常務委員長 スケッチ）

岩手の夏祭りの雰囲気を感じていただきました。なお、この踊り手メンバーには岩手大学工学部応用化学科の女子学生が含まれており、そのボランティア活動に感謝の意を表します。そして、次回討論会の実行委員会を代表して名古屋大学の笹井亮会員からご挨拶をいただいた後、今回の実行委員長の成田が中締めを行い、盛況のうちに終了いたしました。

討論会2日目は、午前中に一般講演の口頭発表が2会場で行われた後、A会場で総会を開催しました。総会では、冒頭、逝去会員への黙祷が捧げられ、次いで岡田会長のご挨拶がありました。その後、川俣純会員の議長のもとで各種報告と審議が行われ、それぞれ確認と承認がなされました。そして、学会賞等の授与式では成田榮一(学会賞)、後藤義昭、鈴木啓三(功績賞)、高木慎介(奨励賞)、福田内曉、秦英夫(技術賞)、K. Kawasakiら(4名)、中石克也ら(3名)(論文賞)、鈴木康孝、千野大輔(学術振興基金賞)の各会員が受賞者として表彰されました。

総会終了後は、12時00分から2階の会場に場所を移してポスター発表が行われました。発表件数は36件と最近の討論会に比べると件数は少なかったものの、カラフルで内容の充実したポスターが掲示されました。奇数と偶数の番号で別にコアタイムを取りましたので、多くの熱心な質疑応答が行われ、活発な討論会となりました。また、この間12時00分から平成22年度の評議員会と常務委員会が討論会場の会議室で開催され、それぞれ山田常務委員長と岡田会長を議長として、新年度に向けた報告ならびに審議が行われました。

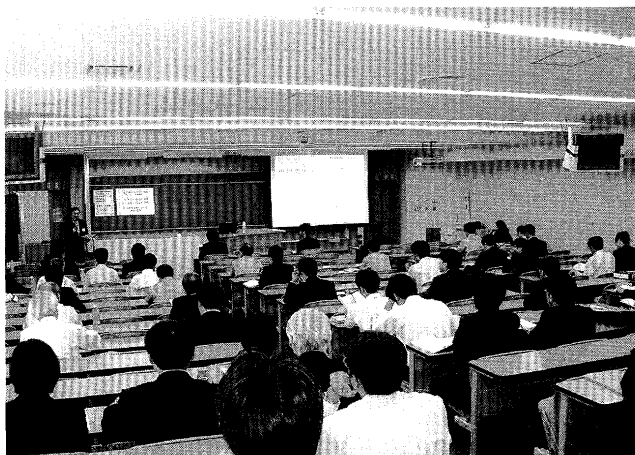
ポスター討論の後には14時30分から再び2会場に分かれて一般講演の口頭発表が開催されました。なお、両会場における終盤の4件(A会場)と5件(B会場)はいずれも提案型討論の基調講演として企画されました。これは前回の沖縄大会からの新たな企画であり、一段と活発な質疑応答が行われました。提案型討論のテーマの一つ(A会場)は「粘土を主成分とする自立膜の開発と展開」(講演題目と講演者は以下のとおり)で、蛭名武雄会員が座長を務めました。「フィルム形成可能なスメクタイトの水熱合成」(横田弘)、「垂直配向型多孔粘土膜の開発と特性」(河崎英治)、「粘土膜を用いたラジカル種の捕獲と分析」(藤島雄介)、「粘土を主成分とした耐熱防湿フィルム」(手島暢彦)。テーマの他の一つ(B会場)は「層状複水酸化物の様々な機能性について」(講演題目と講演者は以下のとおり)で、日比野俊行会員と井伊伸夫会員が座長を務めました。「層状複水酸化コロイド粒子の比較検討」(日比野俊行)、「Well-crystallized

Transition-metal Layered Double Hydroxides and their Exfoliation」(Renzhi Ma)、「層状複水酸化物による陰イオン性色素の吸着と光分解反応」(森本和也)、「LDH/界面活性剤/発光性色素複合固体発光材料の作製と湿度応答性評価」(森田理夫)、「層状複水酸化物を用いたドラッグ・デリバリー・システム」(會澤純雄)。いずれの会場でも最後まで熱心な討論が交わされ、これをもって2日間の日程を無事終了いたしました。なお、優秀講演賞(発表時35歳以下が対象)には口頭発表の部18件、ポスター発表の部15件の応募があり、慎重な選考の結果、横田弘会員の「フィルム形成可能なスメクタイトの水熱合成」と田中みゆきさんの「フルオレセイン/層状複水酸化物の合成と細胞内への輸送」(口頭発表2件)、ならびに岡本浩紀さんの「休廃止鉱山からの銅、亜鉛含有排水における hydrowoodwardite の生成」(ポスター発表1件)が選出されました。

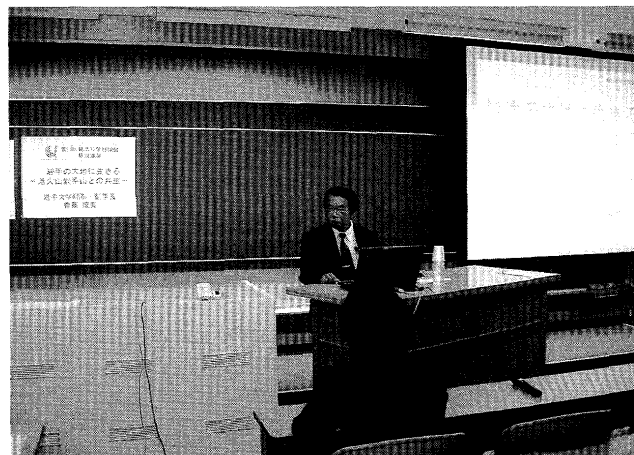
粘土科学討論会に引き続き、9月12日(土)の13時00分から第2回の日本粘土学会若手の会(代表:福士圭介会員)が岩手大学工学部一祐会館の大会議室で開催されました。あいにくの雨模様となりましたが、学生30名と社会人10名の参加がありました。招待講演として、成田榮一(岩手大院工)の「陰イオン性粘土(層状複水酸化物)と共に25年」と佐藤努氏(北海道大院工)の「自然から学ぶ地球工学技術」の講演が行われ、これに加えて口頭発表5件とポスター発表20件が行われました。開会に先立って出席者全員の自己紹介やポスター発表前の約1分のプレゼンテーションなどがあり、若さあふれる活発な交流の場となりました。また、ポスター発表は工学部生協食堂において懇親会と同時進行で行われ、ビールや差し入れの日本酒を片手に活発な論議が交わされました。

今回の討論会では、上述のほかにも多くの方々のご協力のもとに行われました。一般講演で座長を務めてくださった会員や優秀講演賞の選考にあたられた会員の方々、J-Stage 利用による講演申込み受付からプログラムの編成、講演要旨集の作成、若手の会世話人など多くの実務を遂行してくれました行事委員の會澤純雄会員、会場の準備から運営まで熱心に担当してくれました平原英俊会員と高橋諭氏(岩手大職員)、そして岩手大工の学生諸君には、深く感謝いたします。

最後になりますが、はるばる北東北の岩手大会に参加くださいました多くの方々に心より御礼申し上げます。また、岡田会長と山田常務委員長ならびに事務局の土信田裕子さんには、討論会の実施にむけて貴重なご助言やご支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。



口頭発表会場



齋藤徳美先生 特別講演



シンポジウム講演者



懇親会（岡田 清会長 挨拶）



懇親会（藤井克己岩手大学長 祝辞）



懇親会（湊 秀雄名誉会員 乾杯）



懇親会風景



懇親会 (アトラクション: さんざ踊り)



懇親会 (笹井 亮会員 次回大会挨拶)



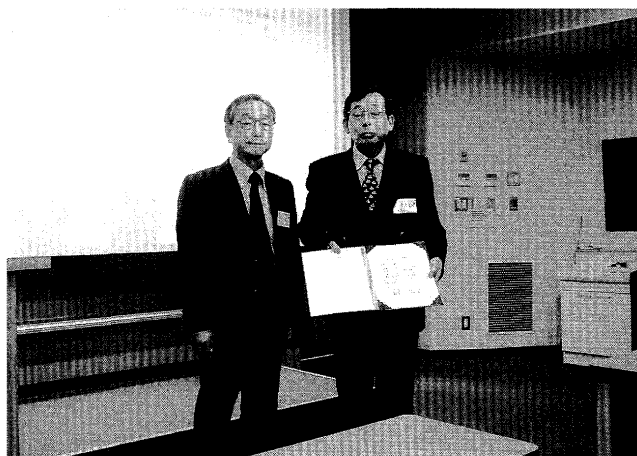
懇親会 (成田榮一実行委員長 挨拶)



総会風景



学会賞 (成田榮一会員)



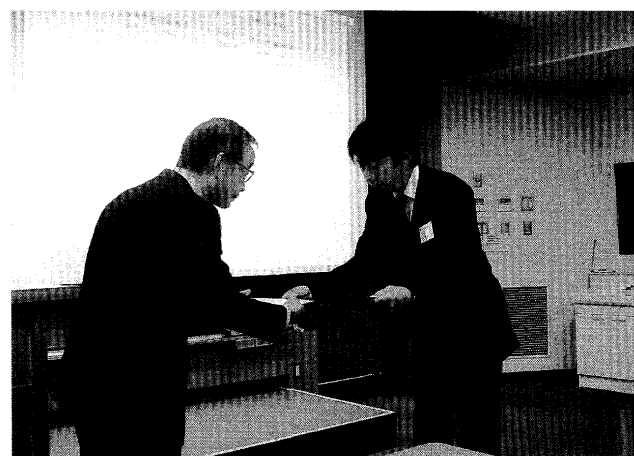
功績賞（後藤義昭会員）



功績賞（鈴木啓三会員）



奨励賞（高木慎介会員）



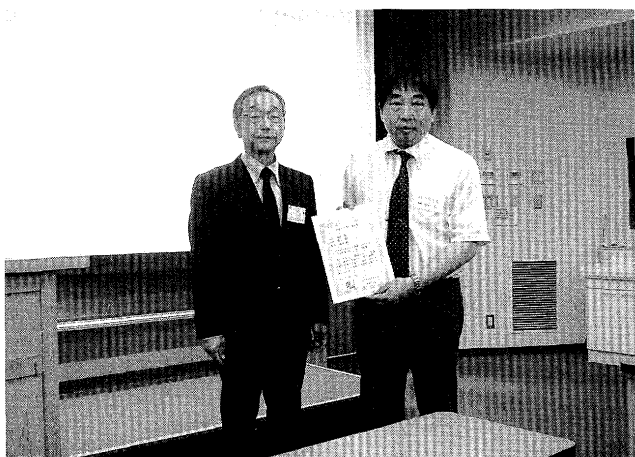
技術賞（福垣内 暁会員）



技術賞（秦 英夫会員）



論文賞（川崎加瑞範会員）



論文賞 (中石克也会員)



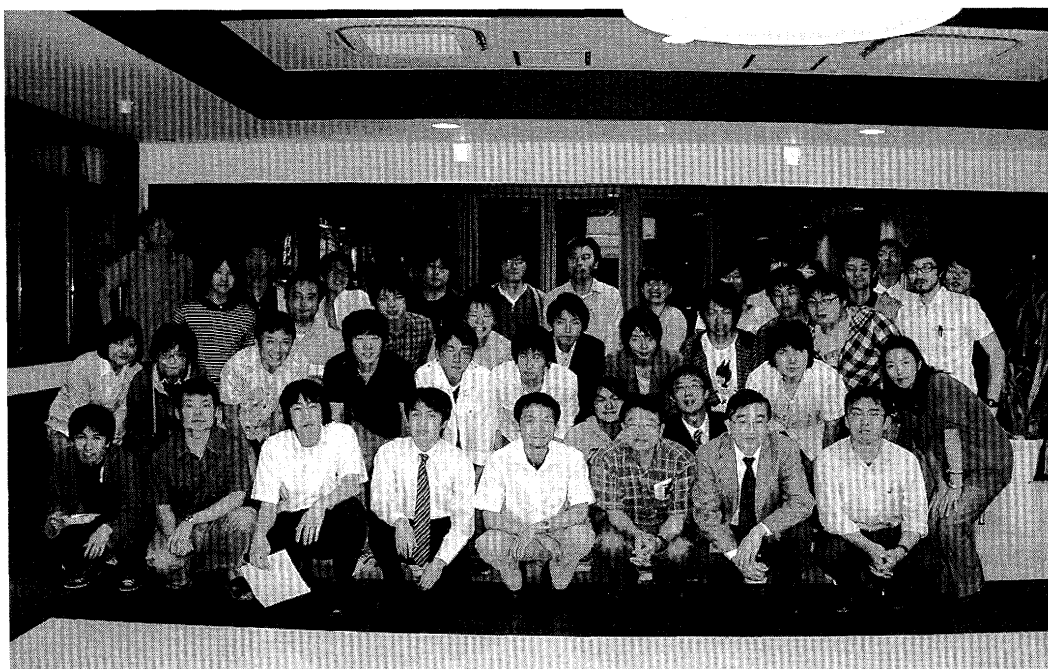
学術振興基金賞 (鈴木康孝会員)



学術振興基金賞 (千野大輔会員)



ポスター会場



若手の会 参加者